

# ひなん訓練

おかざき 3・4年 (下) p6~7

本時のねらい 火事が起きたときに火がどのように消されるのか予想し、消防署で調べたいことを考える。

学習の流れ (時間)	学習活動と内容	指導の工夫
1 避難訓練の様子を想起する。 (5分)	○避難訓練で気をつけたことや感想を発表する。 ・しゃべらずに行動できたよ。 ・本当に火事が起きても、落ち着いて行動したいな。	・避難訓練時の写真を提示したり、合言葉「お・か(は)・し・も」を確認したりして、自分の行動を振り返らせる。
火事が起きたら、火はどのように消されるのだろうか		
2 消火器の使い方を知る。 (10分)	○消火器を扱う手順を知る。 ○消火器で消火できる状況を知る。 ・火が小さいうちだけ使えて、天井まで火があがったら無理なんだ。 ・1本の噴射時間は13秒間。	・練習用の水消火器があれば、実際に放水したい。消防署で借りることもできる。用意できない場合は、消火器で消火の仕方を指導する。
大きくなった火は、どのように消されるのだろうか		
3 火事の消し方や消防士の仕事について予想する。 (15分)	○大きな火事が起きたときは、119番に通報することを知る。 ○消防士の人がどのように火を消すのか、知っていることや予想したことを発表する。 ・消防自動車から出ているホースで消しているよ。 ・水はたくさん使うけど、消防自動車で運んでいるのかな。	・子どもたちの発言をもとに、119番に通報してから火を消すまでの活動の予想として板書にまとめる。 ・多くの子が知らないことや、おかしな予想については、子どもたちに問い返し、調べてみたいという意欲を引き出す。
4 消防署の見学で調べたいことを考える。 (15分)	○消防署の見学で見たいことや聞きたいことをまとめる。 ・消防自動車にはどんな種類があるのかな。 ・火を怖いと思ったことはないのかな。 ・ぼくは、消防士さんの服は火に燃えないだけじゃなくて、熱さを感じないと思うけど、実際は熱いのかな。	・学級全体で解決したい問題と個人的に調べたい内容に分けて考えさせる。 ・調べる項目は、見ることと質問することに分けて考えさせる。

## 板書計画

### 火事が起きたら、火はどのように消されるのだろうか

#### ひなん訓練

- ・合言葉「お・か(は)・し・も」
- ・まどはしめる。
- ・すばやい行動→本当の火事でもしたい。

#### 消火器の使い方

- ・火が小さいときのみ使う。
- ・とめ具を外す。
- ・ホースをもってレバーを引く。



#### 火が消えるまで (よそう)

火事→119番へかける。  
→消防車が来る。→火が消える。

#### 消防しよで調べたいこと

- ・どんな道具を使っているのか。
- ・消防自動車の種類。
- ・火はこわくないのか。